

ニンニク (ホワイト六片種)

情報提供：宮城県登米市在住 A様 (60804) 2015年7月12日

例年より、収穫が一週間早く、約30%多く、40%以上の増収益が見込まれています。また、味も良く、次の日に臭わないと驚かれました。

特長

- 昨年より一週間早く収穫でき、30%の増収です。
- 球は大きく、LL やL 球の割合が多く、割れもなく型も良いです。
- 生と加工(黒にんにく)製造を兼ねますが、生での販売、黒にんにく販売で40%以上の増収が見込まれます。
- 味は、辛味が少なくまろやかです。

栽培地状況

- 宮城県北部に位置し、ニンニク耕作面積は露地栽培で80アール、他に水田面積 37ha です。
- 年間で米・ニンニク・大豆・枝豆・胡瓜・大根・玉ねぎ・ジャガイモ・ネギを栽培しています。
- 「資源循環型農業」に取り組み、環境そして人に優しい、安心、安全な「環境保全米」を生産しています。
- スーパーER の使用は1年目です。

施用状況

<2014年～> 10アール当たり

	日付	希釈倍率	施用量
土壌灌水	10/ 15	1000倍	200ℓ
植付時期	10/ 26		
土壌灌水 ※1	4/ 10	1000倍	200ℓ
	5/ 2		
収穫時期	6/ 20 ~ 25		

※1 イオン化カルシウム 100cc、仰天夢水 100ccを入れて灌水

生産者の声

- 生ですりおろしたニンニクがまろやかで、「次の日に臭わない」と食べた人が驚いていました。
- 根張りが良いように感じられました。
- 種植付前に、堆肥を充分与え、スーパーERを使用し、途中追肥はしませんでした。現段階では、化学肥料、有機肥料、堆肥を使用しています。
- 大玉のため、根切りや、乾燥時間が長かったが、品質は良好です。
- さび病が少し見られたが、良好な生育でした。
- ERの米糠ぼかしを今後チャレンジしてみたいです。

◆ご使用にあたってのポイント

- ・ 今回の結果はスーパーERを使用する事により、肥料の分解と植物の活性が促進され、栄養分の吸収力が高まったと考えられます。その為、好結果が出た後の土壌中の肥料分は多量に消費されておりますので、来年度の土壌への施肥は充分に行う必要があります。
- ・ スーパーERの過剰使用は一時的に良い結果が現れますが、後に何らかの弊害が出る可能性もありますので、施用方法に従い使用をしてください。
- ・ スーパーERの使用で、土壌の微生物の環境が整い、微生物が定着することにより、地温が上昇し作物の生長促進がみられる場合があります。
- ・ これらの現象は、農薬等の作用とは全く異なるもので土壌環境等の調整であり、スーパーERは農薬でも特定農薬でもありません。